



家へ帰ってあなたの家族を愛しなさい

校長 夏見隆晴

長い夏休み、家族の人たち特にお子さんたちと、話す機会をどれほど持てたのでしょうか。学校に通っている子供たちというのは、普段はなかなか忙しくて、話し合う時間も十分に取れないのが、一般的な家庭のありかたでしょう。ことに中学生や高校生の多くは、親と話をすることを避ける傾向にあり、家庭で親子の対話を大切にしたいと思っても大変です、と言われるかもしれません。でもこれは、なおざりにすることはできません。

今回の言葉は、マザー・テレサの「世界平和のために何ができるかですって？ 家へ帰って、あなたの家族を愛しなさい。」からの引用です。世界中から、インドのコルカタの聖女と呼ばれていたマザー・テレサの元を訪れ、お手伝いをさせて欲しいと願い出た若者たちに返した言葉がこれだったのです。東京から訪れた若者たちには「東京にもあなたがたの愛を必要としている人達がたくさんいます」というのが聖女の答えだったのです。

今の日本社会は、「国際社会」とか「グローバル化」に乗り遅れないようにしなければという雰囲気強く、若者たちも「世界」とか「国際」と名がつけば飛びつくところもあります。わたし自身もかつてそのような若者でした。そしてマザーから冒頭の勧めを頂いたのです。そして、自分が「日本」についていかに何も知らないし、また身近な家族について何も理解していないし、ましてや愛するなどどうすればよいのか困惑しました。

「隣人愛」という言葉があります。わたしも好きな言葉です。普通に定義すれば、身近な人を愛することということです。身近にいる人間を、同じ人間であるわたしが愛することです。しかし人生経験を積んでくると、人間が人間を愛するということがいかに難しいものであるかということも分かってきます。でも人間が生きるということのほとんどは、他者との関わりの中でその人々を愛し抜くことに他ならないのです。

人間同士の愛は、神の人間に対する愛と人間の神に対する愛を前提として考えれば、より確固とした愛を相手の人に届けることができるし、そもそもこの前提を欠いたところに、人間世界の本当の愛は成り立たないというのが教会の教えです。教会は旧約聖書の時代から、神に従うものとして自分の隣人を愛するようにと命じられてきたのです。そしてイエス・キリストに至り「汝の敵をも愛せよ」という愛の頂点が示されたのです。

さて、教え子の一人が高校時代に自分の母親を称して「敵ながらあっぱれだ」と公言していたのを、数十年経った今も忘れることができません。わたしの目から見ると、この母親は息子のことをたいそう愛していました。でも、息子の将来に関わる学校での勉強に手を抜くことはどんな時にも赦そうとはしませんでした。そんな厳しい母親と子供との関係の中に深い愛を感じたと同時に、敵とも思われるような行動にも深い愛を見たのでした。



第6回 English Festival に向けて

英語科 友寄 加奈恵

全校をあげて1日中英語漬けになる English Festival が、今年もやって来ました。「イングリッシュ・フェスティバル」の名の通り、英語弁論大会あり、英語パフォーマンス発表あり、ゲーム大会ありの「英語祭り」な1日です。この1日を通して、全校生徒が英語を聞いたり、使ったりする機会を提供しています。特に、午前に行う英語弁論大会は6月末～7月にかけて中学生全クラス、高校生特選・特進コースにおいて全生徒による予選会を行い、その代表による校内大会という大がかりなものです。予選を勝ち抜いた各学年代表2名が、夏休みの特訓を経て発表を行います。また毎年、審査員として県内の大学から先生方を2名お迎えし、カトリック小学校の英語教員を加えた3名で審査をしていただいています。英語科としても、代表生徒12名に対する審査の結果が、私たちの指導に対する評価だとも捉えているので、弁士と同じく緊張する場面です。聴衆となる多くの生徒も、自分自身が予選会での発表を体験していることで、代表者の緊張や努力も伺い知ってくれるものと期待しています。

一方、午後は、生徒による実行委員の企画・運営で、英語ゲーム大会を行います。午前中は英語を聴くことが主な活動ですが、午後はクイズに答えたり、カードを奪い合ったり、スベルを綴ったりと、生徒一人一人が英語を使って活動します。実行委員の生徒達は「何をやったら生徒たちが楽しく英語を使えるか」と会議を重ね、ゲーム内容やルール決め、小道具製作と準備を進めてきました。生徒の手によるゲーム大会は、どの生徒もいきいきとした楽しそうな表情を見せます。そして、時間を割いて準備してきた実行委員の皆にとっても充実した時間となっています。

日本において英語を学習する際、英語を使う場面を意図的に仕組んでいく必要があります。英語を学ぶ必要性を感じさせ、学習意欲へ繋げていくことは、学校での英語教育の重要な役割だと考えます。6年目を迎える本校の English Festival が、生徒にとってそういう機会となるよう企画しています。



9月の予定



日・曜日	行事計画
1日(月)	生徒集会(平常授業)
2日(火)	English Festival (終日) 体育着持参
3日(水)	みことば朝礼 職員会議 完全下校 16:30
6日(土)	総合(平和学習上映会)
10日(水)	みことば朝礼 小4・中3交流会 委員会活動
11日(木)	前期学年会(高校)
12日(金)	全体朝礼 前期学年会(中学)
15日(月)	敬老の日
20日(土)	総合PUP Bene 駿台M 6年生 SS 4、5年生 中学2年生修学旅行説明会 オーストラリア姉妹校生徒受け入れ(9/20~9/27)
23日(火)	秋分の日
24日(水)	みことば朝礼 小2・中1交流会
25日(木)	地区陸上(中学生) 青パック(高校生)
29日(月)	遠足 1・3・4年生
30日(火)	終業式



生徒の頑張り!



7月19日(土)午後3時~5時までの2時間、パレット久茂地イベント広場において実施されました街頭募金活動は、80名の生徒が参加しました。炎天下、元気な声で呼びかけた結果、10万余の金額が寄せられました。その日のうちに東京の本部に送金され、8月の上旬にはThanksカードも届きました。
活動に参加した皆さん、ご協力ありがとうございました。

米国ヘリーダー研修

沖縄の高校生を米国の大学に派遣して国際的視野の基礎を要請する県の「グローバル・リーダー育成海外短期研修事業」に、1年生ながら参加した[上江洲まりのさん\(高1\)](#)。「多様な価値観を持つ世界の人々に今の沖縄が抱える問題を直接伝え、解決できる人になりたい」と目標への第一歩を踏み出しました。



第69回国民体育大会「長崎がんばらんば国体」出場

氏名(学年)	競技名	種目名	期間	場所
二俣峻亮(高3)	水泳競技	50m自由形	9月12日~ 9月15日	長崎市民総合プール
林 秀光(高2)	セーリング競技	シーホッパー級 SR	10月13日~ 10月16日	長崎サンセットマリーナ

